

6月の星空情報

2019年6月1日

発行 黒石すばるの会
<http://subaru.9614.dip.jp/>

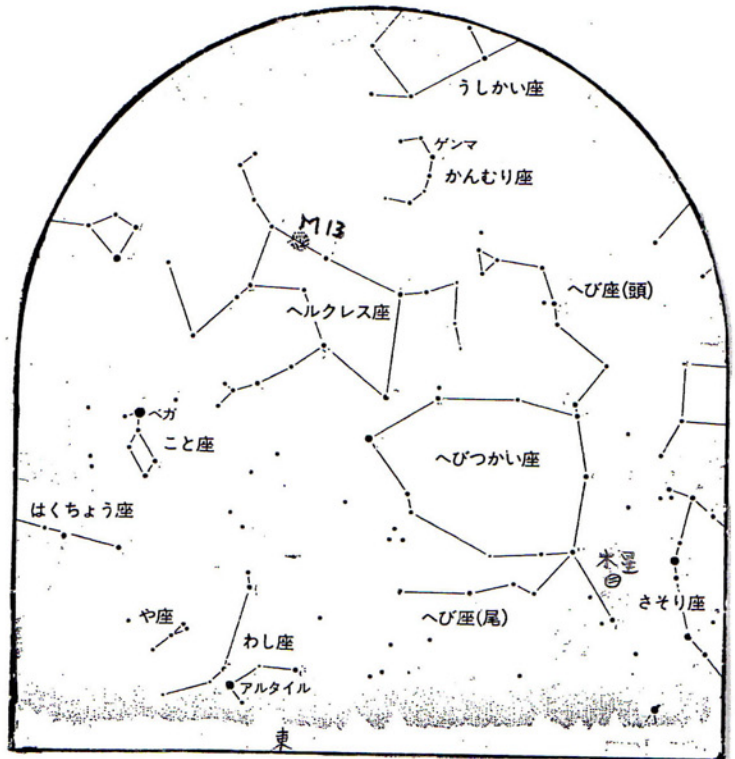
東の星空

今、東の空で目だつのはヘルクレス座やこと座・へびつかい座などです。

ヘルクレス座には、特別に明るい星がないのですが、整った形をしていて頭を右下にし、両手と両足を広げた英雄ヘルクレスの姿は、よいに分かります。

このヘルクレス座で有名なのは、を書いたあたりに、小さな望遠鏡でもたくさんの星が集まって丸く見える球状星団 M13 があることです。

また、へびつかい座のさそり座の近くには-2.6等の木星がいて、今月は星座の中をあまり動きません。



月はじめは 21時ころ
 10日前後は 20時20分ころ
 20日前後は 19時40分ころ
 月まっは 19時ころ

西の星空

春らしい南側の空で、ずっと輝いていたしし座が西の低い空にまだ残っていますが、あまり冴えなくなりました。しかし、1等星レグルスはまだまだ目立ちます。

また、時刻の関係で右の図には書いていませんが、太陽が沈んで間もない西の低空のおうし座にいる-1等から1等の水星が、その近くのふたご座にいる1.8等の火星にどんどん近づいていて、18日にはかなり接近します。

